

1 地域活性化について

磐田南部地域(沿岸部)の『渚の交流館』は1周年を迎え、記念イベント「渚のマルシェ」も約7千人の来場者を迎え成功裏に終わりました。また軽トラ市など、磐田市として街のにぎわいを創出することに成功しています。今後も、市内のみならず市外からのお客さんにも磐田市に来て頂くべくさらなる観光産業・サービス産業の創出、育成が必要だと思われま

- (1) 磐田市の観光産業・サービス産業の現状と課題、今後の方向性を伺う。
- (2) 北部地域の産業育成について。活用できるモノとして、どのようなモノがあり、どのような活用を考えているのか伺う。
- (3) 新東名スマートインターチェンジ設置後のまちづくりや産業ビジョンについて伺う。
- (4) 今後、地域の特性を活かしたまちづくりが期待される中、スタートした地域づくり協議会について

地域づくり協議会の必要性と現状、課題について伺う。

地域づくり協議会の最終的なイメージと今年度の取り組みについて伺う。

2 福祉の充実と健康づくりの推進について

日本において、2025年には65歳以上の高齢者数は3,657万人となり、さらなる高齢化認知症高齢者の増加・老々介護の増加が見込まれています。各地域で、それぞれの実情に合った地域包括システムの構築が必要ですが、簡単にはできない難易度の高い試みとされ、全国の多くの自治体で苦労されている現状が見受けられます。

(1) 地域包括ケアシステムについて

地域包括ケアシステム推進に関連する29年度予算と前年度比を伺う。

地域包括ケアシステム推進のための市の職員体制について伺う。

磐田市における地域包括支援センターの役割と具体的業務、行政との連携について伺う。

地域包括ケアシステムの体制強化やシステムへの目配り、各センター間の調整困難事例へのサポートなど後方支援を行う『基幹型センター』や、権利擁護業務や認知症支援等の機能を強化し各センターをサポートする『機能強化型センター』の設置についての見解と、今後の各地域包括支援センターサポートについて伺う。

磐田市における地域包括ケアシステムの進捗状況とその課題、今後の方向性と市長の地域福祉推進に対する意気込みを伺う。

(2) 総合事業について

4月から始まっている総合事業の運用状況とその課題について伺う
住民主体サービスの高齢者サロンの実施状況とその内容について伺う。

(3) 高齢弱者の足について

高齢弱者の足、デマンド型乗合タクシーについて利便性の向上を望む声が多く聞かれ、さらなる改善が必要だと思われれます。

デマンド型乗合タクシーの地域別利用状況と各路線の利用者の声を伺う。